

市民活動分野 政策 1 「多様なコミュニティ活動の推進」

目指す姿

多様なコミュニティ活動の主体が、創意工夫しながら自主的に地域課題の解決に取り組むつ、行政などと協力して地域づくりを進めている。

【現状と課題】

- 本市では、自治会を中心とした地域団体が、地域福祉や環境衛生、防犯・防災など様々な分野で活躍しています。とりわけ、自治会は他の中核市と比べ加入率が高くなっており、本市における地域づくりの中核を担っています。
- 地域団体では、人口減少・高齢化の進行、市民のライフスタイルの多様化などにより、加入率の低下や担い手不足、行事参加者の減少による住民同士のつながりの希薄化などが懸念されています。
- 本市では複数の地区連合自治会や各種団体に構成する 14 の地域づくり推進協議会（※）が、地域の発展や課題解決のために自主的な活動を行っています。
- 本市では、コミュニティ活動の拠点となる施設が多く設置されています。今後、多様な主体間での交流や協働をさらに進めるために、公民館や市民センター等の利用方法の検討など、活動しやすい環境づくりが必要になっています。
- 姫路市市民活動・ボランティアサポートセンターを設置し、NPO 法人やボランティア団体等に対する学習機会の提供や活動の相談受付、団体間交流の促進など様々な支援を行っています。
- 地域団体、NPO 法人やボランティア団体、企業・団体、大学などの教育機関、個人、行政などが協力しながら、地域づくりや地域課題の解決に向けて取り組むことができる仕組みの構築が求められています。

【目指す姿を実現するための方向性】

人

ア コミュニティ活動の担い手の育成・確保

住民等が主体となって、自主的にまちづくりを進めていくことができるよう、コミュニティ活動を行う団体に対する研修やアドバイザーの派遣、若い世代の活動への参画を促進するための啓発等を行い、活動のリーダーや担い手となる人材の育成と確保を図ります。

地域

イ 多様な主体の協働による地域づくりの促進

市内外の個人や地域団体、NPO 法人やボランティア団体など多様な主体が地域づくりに参画して、相互につながり、共に考え、連携できる仕組みを構築し、多様な主体の協働による地域づくりを促進します。

活力

ウ コミュニティ活動の活性化

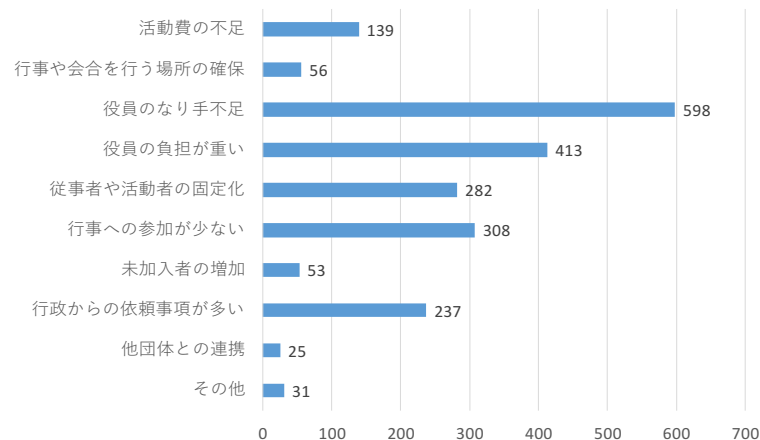
- 自治会や地域づくり推進協議会を中心とした活力あるコミュニティ活動への支援や、姫路市市民活動・ボランティアサポートセンターの機能充実などにより、地域の特性を活かした、自主的な活動のさらなる活性化を図ります。
- コミュニティ活動における事務負担の軽減や、情報伝達の円滑化などのため ICT の活用を促進し、コミュニティ活動の活性化を図ります。

土台

エ コミュニティ活動環境の充実

多世代交流をはじめ柔軟な活用ができるよう、公民館や市民センターなどコミュニティ活動の拠点となる施設の機能の検討、整理を行い、活動環境の充実を図ります。

※関連データ：自治会活動をする上での悩み（895 自治会から回答。複数回答あり）



（資料）姫路市 自治会アンケート（平成 30 年度）

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること

市民

➤ 一人ひとりがまちづくりの担い手であるという意識の下、コミュニティ活動に積極的に参加しましょう。

地域コミュニティ

➤ 地域課題の解決に向けて、NPO 法人やボランティア団体、企業、行政等と連携し、創意工夫しながら自主的に行動しましょう。

➤ 地域の魅力や活動のやりがいを若い世代に伝えて、担い手の育成・確保に取り組みましょう。

企業・団体

➤ 行政や地域団体などと連携・協力しながら、地域に貢献しましょう。

※地域づくり推進協議会

